

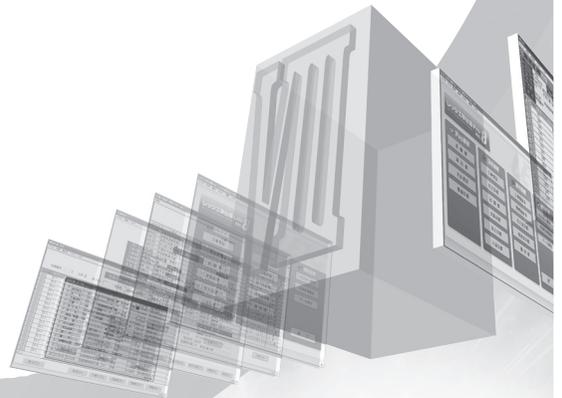
レッツ 工事台帳

version EIGHT
V.8

インストールマニュアル

LAN対応版

LET'S



目次

1 インストールの前に	3
2 サーバー・クライアントの設定	4
3 インストール作業手順	7

〔補足〕

1. レッツ工事台帳のアンインストール	11
2. クライアントの追加	12
3. 再インストールについて	12
4. Windows XP をサーバー機にする場合の注意点	13
5. Windows Vista をサーバー機にする場合の注意点	14
6. Windows Vista へインストールする場合の注意点	15
7. PC入替作業手順	16
8. サーバー入替作業手順	17
9. トラブルシューティング	18

ターミナルサーバーまたは Citrix Presentation Server 環境で使用する場合は、特殊な方法でインストールする必要があります。インストール方法につきましては、レッツ工事台帳プログラム CD-ROM 中にある、インストールマニュアルを参照してください。（保存場所：CD-ROMの「Documents」フォルダ）

- 本書では、レッツ工事台帳のインストール方法についてのみ解説しております。機能および基本的な操作方法につきましては、「レッツ工事台帳 Lite 操作マニュアル」「レッツ工事台帳 Pro 操作マニュアル」でご確認ください。
- 本書では「レッツ工事台帳 Pro」の画面を使用して解説しておりますが、「レッツ工事台帳 Lite」も設定、操作方法は同じです。
- 本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。
- Windows およびマイクロソフト社に関する商標は、Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

1 インストールの前に

レッツ工事台帳をインストールする前に、次の確認を行ってください。

① レッツ工事台帳をインストールする機器の確認を行います。

1	CPU	Pentium III 1GHz 以上推奨
2	OS	日本語版 Windows Vista/XP/2000
3	サーバーOS	日本語版 Windows Server 2003 日本語版 Windows 2000 Server/Professional 日本語版 Windows XP Professional 日本語版 Windows Vista Business/Enterprise/Ultimate
4	メモリ	Windows XP/2000 512MB 以上推奨 Windows Vista 1GB 以上推奨
5	サーバーメモリ	Windows XP/2000 512MB 以上推奨 Windows Vista 1GB 以上推奨
6	HDD	インストール時最低 200MB 以上 (別途データ領域必要)
7	ディスプレイ	解像度 1024 × 768 以上
8	ディスクドライブ	インストール時8倍速以上のCD-ROMドライブが必要
9	プリンタ	上記OSが対応するA3が出力可能なプリンタ ※本製品は、市販されるプリンタすべての稼働を保証するものではありません。
10	LAN環境	有線 100BASE-T 以上を推奨
11	WAN環境	ターミナルサービス必須

② ほかのソフトが起動していないことを確認してください。

ほかのソフトが起動している場合、正常にインストールされない場合があります。
(ディスクメンテナンスやウィルス対策ソフトなどの常駐ソフトも含む)

③ LAN (ネットワーク) が正常に動作しているかを確認してください。

各クライアント機の「(マイ) ネットワーク」を開き、サーバー機が表示されていて、ログオンが可能であることを確認します。

🔒 ネットワークプロトコルは一般的に「TCP/IP」を使用します。

ネットワークドライブの割り当て機能を使用しますので IP アドレスは固定値を使用することを推奨します。
次頁からのサーバーの設定・クライアントの設定が必要になります。

④ ほかのクライアント機でレッツ工事台帳が起動していないことを確認してください。ほかのクライアント機でレッツ工事台帳が起動しているとインストールが失敗することがあります。

🔍 OSやネットワークの構成方法により設定画面が異なります。詳しくはネットワーク管理者へお問い合わせください。

🔍 ネットワーク経由でのインストールは、環境により失敗することがあります。ローカルの CD-ROM ドライブからインストールしてください。

🔍 長い文字数のユーザー名で Windows にログオンしている場合、環境によりインストールが失敗することがあります。

ログオンユーザー名は半角 15 文字以内、全角 7 文字以内の使用を推奨します。
インストールする時のユーザーは管理者 (Administrators) 権限を必要とします。

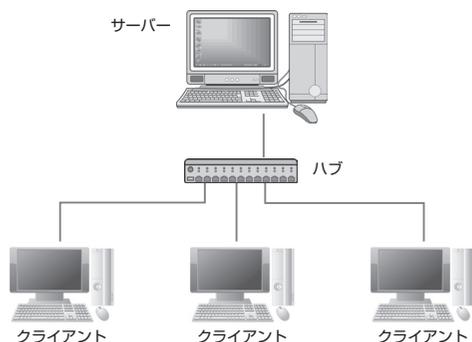
🔒 Windows Vista へインストールする際は、**Vista**も併せてご参照ください。

2 サーバー・クライアントの設定

「レッツ工事台帳 LAN版」の運用形態は次の4パターンに大別できます。
環境に応じて設定およびインストールを行ってください。

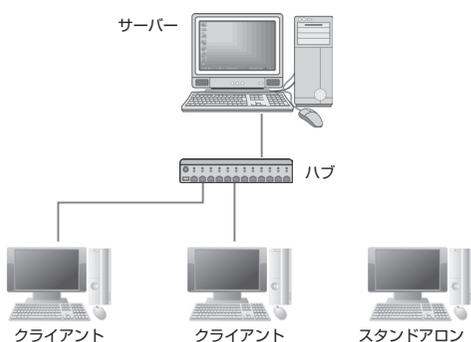
🔍 ネットワークの設定については、ネットワーク管理者または販売店にお尋ねください。

A. 全台LANで運用



- ① サーバー機の設定をします。←P.5
- ② 各クライアント機の設定をします。←P.6
(①②は再インストールの場合必要ありません。)
- ③ 各クライアント機にレッツ工事台帳のプログラムをインストールします。←P.7

B. 一部をLAN、一部をスタンドアロンで運用



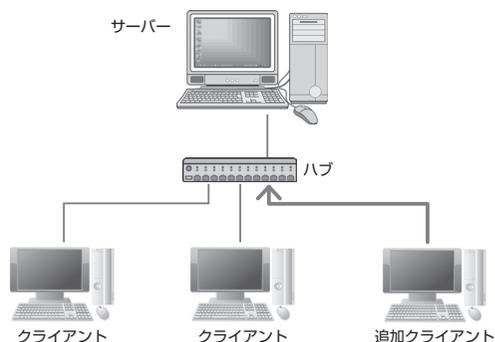
- ① サーバー機の設定をします。←P.5
- ② 各クライアント機の設定をします。←P.6
(①②は再インストールの場合必要ありません。)
- ③ 各クライアント機およびスタンドアロンで使用するPCにレッツ工事台帳のプログラムをインストールします。←P.7

C. 全台スタンドアロンで運用



各PCにレッツ工事台帳のプログラムをインストールします。←P.7

D. クライアントを追加



←P.12 補足「クライアントの追加」

🔔 ターミナルサーバーまたはCitrixPresentationServer環境で使用する場合は、特殊な方法でインストールする必要があります。インストール方法につきましては、レッツ工事台帳プログラムCD-ROMの中にある、インストールマニュアルを参照してください。

保存場所：CD-ROMの「Documents」フォルダ

■サーバーの設定（共有データを置くための共有フォルダを作成します）

ネットワークでご使用になる場合、まずサーバー機で次の設定を行います。

この画面は WindowsServer2003 での設定例です。詳しくはネットワーク管理者へご相談ください。

Windows XP をサーバー機にする場合

←P.13「Windows XP をサーバー機にする場合の注意点」を参照してください。

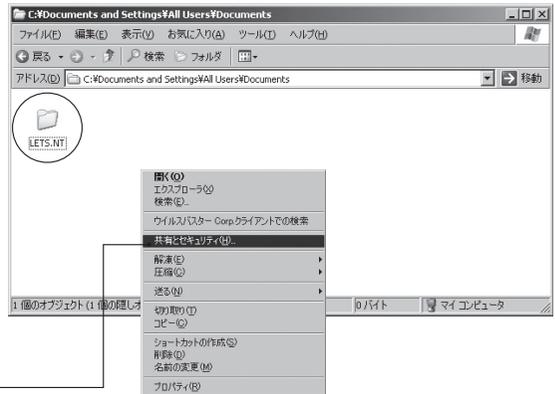
Windows Vista をサーバー機にする場合

←P.14「Windows Vista をサーバー機にする場合の注意点」を参照してください。

1 サーバー内に「LETS.NT」フォルダを新規に作成します。

【作成する場所】

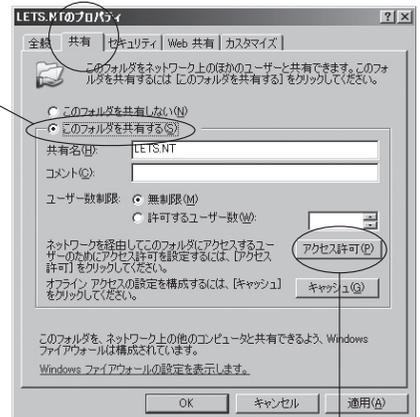
「Windows」フォルダがあるドライブとは別のドライブ、もしくは共有ドキュメントの中に作成する事を推奨します。



2 「LETS.NT」フォルダを選択した状態でマウスの右ボタンを押し、メニューを開きます。ここで「共有とセキュリティ」（「共有」）を選びます。

3 「共有」タブを選ぶと右のように表示されますので、「このフォルダを共有する」（「共有する」）を選びます。

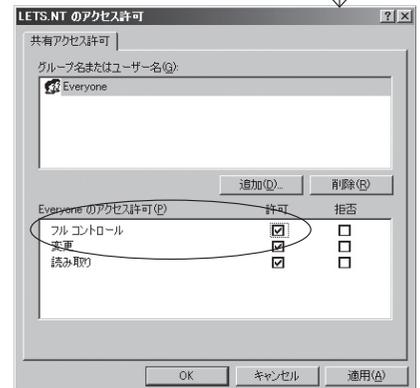
「ユーザー数制限」はご使用の環境により設定します。



4 3の画面で「アクセス許可」ボタンをクリックすると右の画面が開きます。レッツ工事台帳を使用するグループまたは、ユーザーに対するアクセス許可の「フルコントロール（許可）」のチェックをON (☑)にしてください。

5 [OK] をクリックすると「LETS.NT」のプロパティ画面に戻りますので、ここでも [OK] をクリックして戻ります。

上記の設定は一例です。環境に合わせて設定してください。



■クライアントの設定（サーバーの共有フォルダに対してネットワークドライブを割り当てます）

ネットワークでご使用になる場合、各クライアント機で次の設定を行います。

- ① この設定の前に、前頁のサーバーの設定を行ってください。
- ② この設定と次頁以降のレッツ工事台帳のインストール作業は、すべてのクライアント機で行う必要があります。

Windows Vista をクライアント機にする場合

→ P.15 「Windows Vista ヘインストールする場合」も併せて参照してください。

① デスクトップ上の「(マイ)ネットワーク」を開きます。

② サーバー機を選び、表示される「LETS.NT」フォルダを選択した状態でマウスの右ボタンをクリックします。



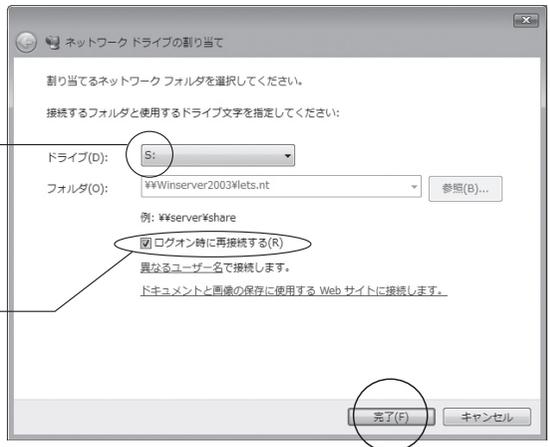
③ メニューから「ネットワークドライブの割り当て」を選ぶと右の画面が開きます。

④ ドライブを「S:」にします。

⑤ 必ず「S:」にしてください。

⑥ 「ログオン時に再接続する」のチェックをONにします。

⑦ [完了] ([OK]) ボタンをクリックして元の画面に戻ります。



⑧ この手順どおりに進めない場合、ネットワーク環境、もしくはサーバーの共有設定に問題がある場合があります。P.18 を参照してください。

【参考】

Windows 起動時にネットワークドライブに [X] が付いていることがあります。この現象は Windows の仕様によるものです。（詳細については Microsoft 社のウェブサイトをご覧ください。）

以下の 1～4 のいずれか、または複数の設定をすることにより回避できます。

1. サーバ機のコマンドプロンプトで「net config server /autodisconnect:-1」を実行する。
2. サーバ機の TCP/IP の IP アドレスを固定値に設定する。（DHCP からの自動取得をしない）
3. サーバ機、クライアント機のネットワークプロトコルに NetBEUI を追加する。
4. クライアント機のスタートアップに「Net Use S: ¥¥サーバー名¥共有名」コマンドを入れる。

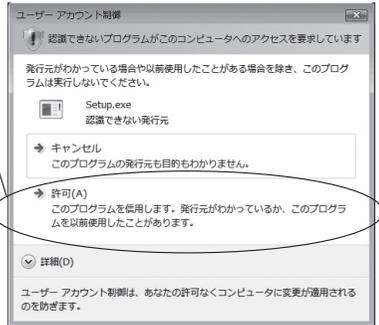
3 インストール作業手順

レッツ工事台帳のインストールは次の手順で行います。

- ① CD-ROM ドライブにレッツ工事台帳の CD-ROM をセットすると自動的にインストーラが起動します。

[Vista] 右のような確認メッセージが表示されることがあります。「許可(A)」をクリックしてください。

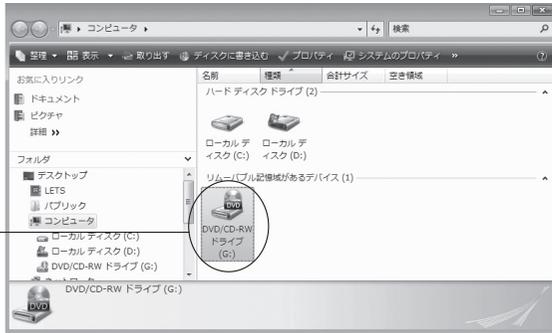
- ② 下の画面が表示されますので[次へ] ボタンをクリックします。



インストーラが自動的に起動しない場合には？

インストーラが自動起動しない場合には、次の方法で起動します。

- ① 「(マイ) コンピュータ」を開きます。
- ② CD-ROM をセットしたドライブをダブルクリックします。

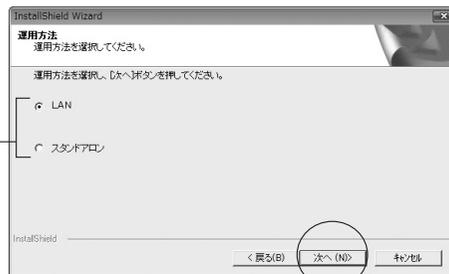


- ③ ②で起動しない場合には「Setup.exe」というファイルがありますので、ダブルクリックします。



③ 右の画面が表示されます。

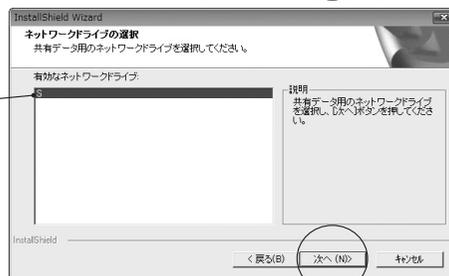
LAN環境でレッツ工事台帳をご使用になりたい場合は「LAN」、データを共有せず単独でお使いになる場合は「スタンドアロン」を選びます。



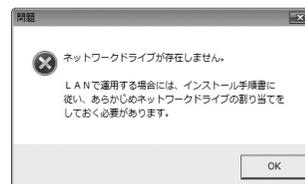
④ ③で「LAN」を選んだ場合のみ、右の画面が表示されます。

P.6④で割り当てたネットワークドライブ(S)を選んでください。

③で「スタンドアロン」を選んだ場合、この画面は表示されず、⑤に進みます。



Vista セキュリティの関係で、右のエラーメッセージが表示される場合があります。この場合、P.15「Windows Vista へインストールする場合」を参照し、設定を変更してください。

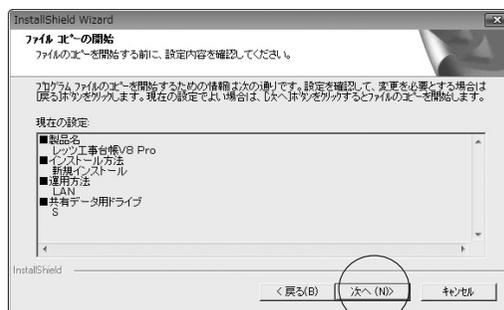


⑤ 右の画面が表示されます。

現在の設定内容を確認し、[次へ] ボタンをクリックしてください。

⑤ インストール方法が「再インストール」の場合、P.10の⑦に進みます。

→ P.12 も併せてご参照ください。



新規インストール で使用のパソコンに初めてレッツ工事台帳をインストールする場合や、いったんレッツ工事台帳を削除したパソコンに CD-ROM をセットした場合に選択されます。(←P.9 ⑥に進みます)

再インストール レッツ工事台帳がインストールされているパソコンに CD-ROM をセットした場合に選択されます。レッツ工事台帳のプログラムおよび初期データをインストールします。(← P.10 ⑦に進みます)

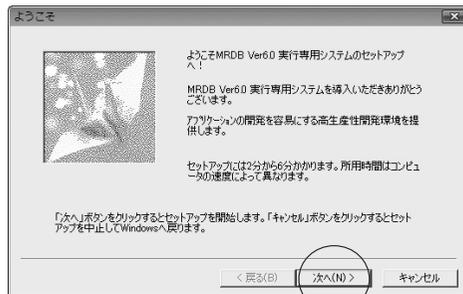
④ すでに入力してあるデータはそのまま残りますが、安全のために必ずバックアップを取ったあとで実行してください。

④ レッツ工事台帳が起動していない状態で実行してください。

6 (新規インストールの場合のみ)

新規インストールの場合、レッツ工事台帳の実行システム「MRDB ランタイム」がインストールされます。画面の指示に従って進めてください。

- ① 右の画面が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。



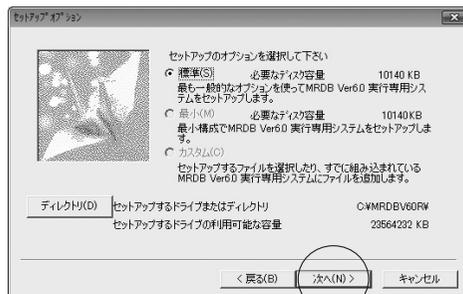
- ② 「御利用者名」「会社名」「プログラム番号」をそれぞれ入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

- 🔔 プログラム番号は CD-ROM に同梱のプログラムライセンス証に記載されています。半角で入力してください。
- 🔍 クライアントごとに重複しないよう必ず別の番号を入れてください。
- 🔍 LAN・WAN でご使用の場合、各 PC ごとに「御利用者名」は別の名前を登録することを推奨します。

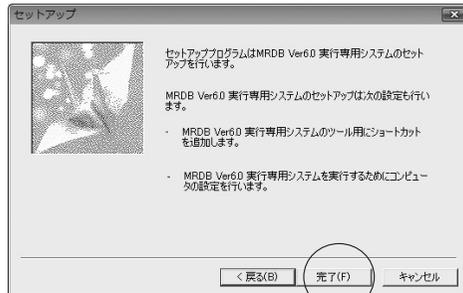


- ③ 右の画面が表示されますので [次へ] ボタンをクリックします。

- 🔔 [ディレクトリ] ボタンをクリックすると必要に応じてセットアップするドライブが指定できます。
- 🔍 ディレクトリ名 [MRDBV60R] は変更しないでください。



- ④ 右の画面が表示されますので [完了] ボタンをクリックするとインストールが開始されます。



- ⑤ インストールが正常に完了すると右の画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。

- 🔔 引き続きレッツ工事台帳のシステムのインストールが開始されます。



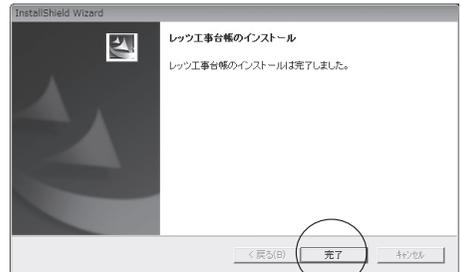
7 レッツ工事台帳のインストールが開始されます。

① [キャンセル] は押さないでください。



8 正常に終了すると右の画面が表示されます。

[完了] ボタンをクリックしてください。



以上でレッツ工事台帳のインストールは完了です。

Windows のプログラムメニュー（[スタート]→[プログラム]）に「レッツ工事台帳」が追加されます。レッツ工事台帳はここから起動します。



Vista インストール完了後、右のような確認メッセージが表示される場合があります。メッセージ上ではインストールが失敗したような内容ですが、正しくインストールされておりますので、「このプログラムは正しくインストールされました」をクリックしてください。



補足 1 レッツ工事台帳のアンインストール

ここではシステムのアンインストール方法を解説します。
インストール作業が正常に終了した方は行う必要はありません。

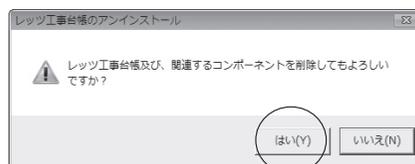
❗ 重要なデータはあらかじめバックアップを取っておいてください。

❶ レッツ工事台帳のアンインストールを実行します。

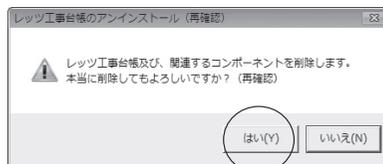
① [スタート] → [プログラム] → [レッツ工事台帳] → [MRDB Ver6.0 ランタイム] → [工事台帳のアンインストール] を実行します。



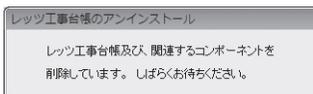
② 右のメッセージが表示されますので [はい] をクリックします。



③ 再確認メッセージが表示されます。
本当に削除する場合は、[はい] をクリックします。



❷ レッツ工事台帳のアンインストールが開始されます。



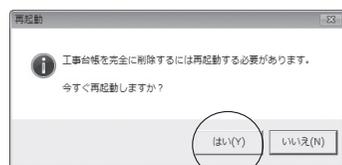
[Vista] 右のような確認メッセージが表示されることがあります。
「許可(A)」をクリックしてください。



❸ アンインストールが完了すると右の画面が表示されます。メッセージの内容を確認の上、[OK] ボタンをクリックしてください。



❹ 最後にレッツ工事台帳を完全に削除するため、再起動を促すメッセージが表示されます。[はい] をクリックしてください。



以上でレッツ工事台帳のアンインストールは完了です。

補定 2 クライアントの追加

レッツ工事台帳使用開始後にクライアント機を追加する場合には、以下の手順で作業を進めます。

❶「データ複写」で現在のデータのバックアップを取ります。

⚠ 当作業で、サーバー上のデータが消えることはありませんが、不測の事態に備え、安全のため、2部以上のバックアップを取ることをおすすめします。

❷ P.6 を参照し、クライアント機でネットワークドライブを設定したあとレッツ工事台帳のインストールを開始します。

📌 追加する PC にすでにレッツ工事台帳がインストールされている場合には、レッツ工事台帳のアンインストール(← P.11)後に行ってください。

以上でクライアントの追加は完了です。

補定 3 再インストールについて

LAN で運用している場合の再インストールは、すべてのクライアント機でレッツ工事台帳を使用していない状態で実行してください。

1 台のクライアント機でのみ CD-ROM よりインストールすれば完了です。

ほかのクライアント機では、次回レッツ工事台帳を起動したときに自動的に再インストールが実行されます。その場合、レッツ工事台帳の起動に若干時間がかかりますが、次回からは通常どおりに起動されます。また、名称を変更してご使用されている場合には、名称変更処理も実行されますのでご了承ください。

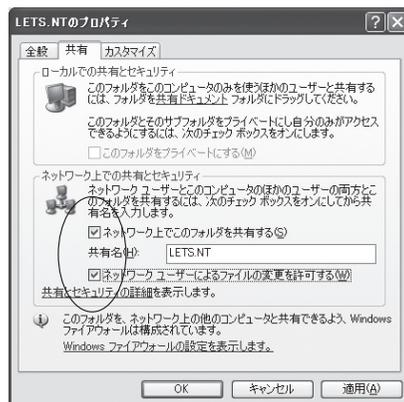
補定 4 Windows XP をサーバー機にする場合の注意点

Windows XP をサーバー機として使用する場合は、以下の点に注意し、サーバー機を設定してください。
下記作業は必ず管理者に確認の上、行ってください。

■共有フォルダ (LETS.NT) のプロパティ設定

共有フォルダ (LETS.NT) のプロパティ「共有」タブ→「ネットワーク上での共有とセキュリティ」で、「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」および「ネットワークユーザによるファイル変更を許可する」のチェックを2箇所とも必ずON(☑)にしてください。未チェックの場合は、クライアントのインストールが失敗します。

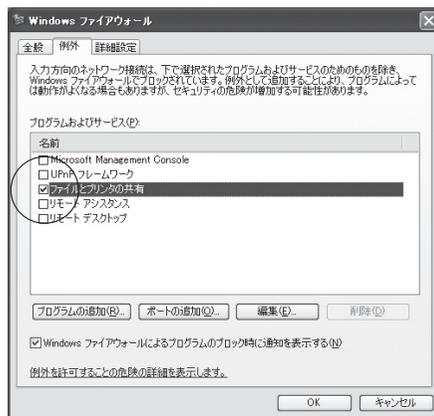
🔔 「スタート」→「コントロールパネル」→「フォルダオプション」→「表示」→「簡易ファイルの共有を使用する」のチェックがOFF(☐)の場合、P.5 の設定方法を参考に設定を行ってください。



■ファイアウォールの設定 (Windows XP SP2 の場合)

Windows XP (SP2) に標準で搭載されているファイアウォール機能が有効になっている場合、Windows ファイアウォールの設定の例外「ファイルとプリンタの共有」のチェックをON(☑) にしてください。

🔔 右の設定画面へは、[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [Windows ファイアウォール] と順に選択します。

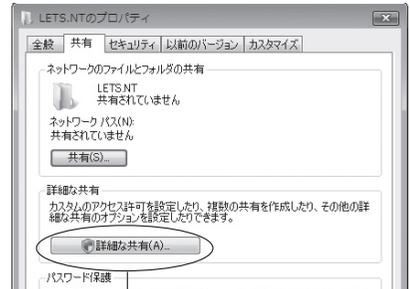


5 Windows Vista をサーバー機にする場合の注意

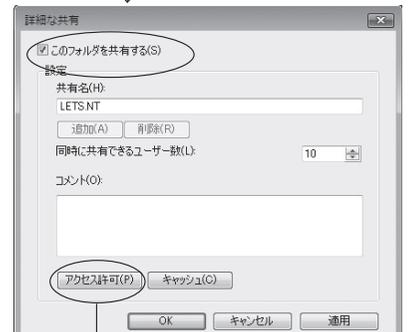
Windows Vistaをサーバー機として使用する場合は、以下の点に注意し、サーバー機を設定してください。
下記作業は必ず管理者に確認の上、行ってください。

■共有フォルダ (LETS.NT) のプロパティ設定

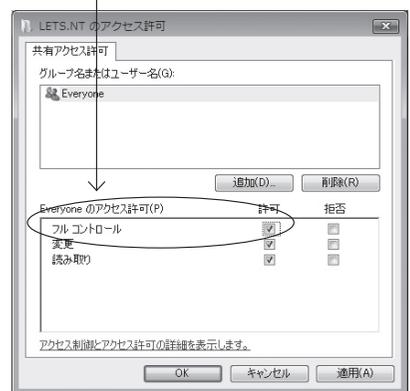
①「LETS.NT」のプロパティ画面で「共有」タブを選び、「詳細な共有」ボタンをクリックします。



②右の画面が表示されますので、「このフォルダを共有する」のチェックをON (☑) にします。



③②の画面で「アクセス許可」ボタンをクリックし、レッツ工舞台帳を使用するグループまたはユーザーに対するアクセス許可の「フルコントロール」の「許可」のチェックをON (☑) にします。



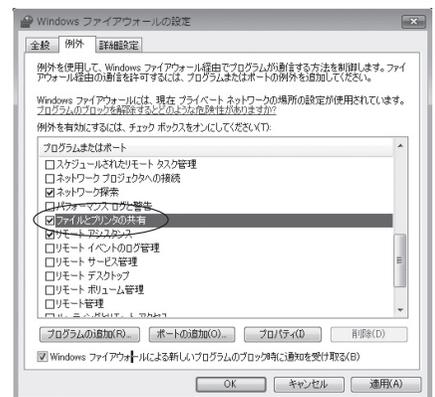
④ 上記2個所のチェックボックスが未チェックの場合は、クライアントのインストールが失敗します。

🔔「スタート」→「コントロールパネル」→「フォルダオプション」→「表示」→「簡易ファイルの共有を使用する」のチェックがOFFの場合、P.5 の設定方法を参考に設定を行ってください。

■ファイアウォールの設定

ファイアウォール機能が有効になっている場合、Windows ファイアウォールの設定の「例外」タブの「ファイルとプリンタの共有」のチェックをON (☑) にしてください。

🔔 右の設定画面へは、[スタート] → [コントロールパネル] → [セキュリティ] → [Windows ファイアウォール] → [設定の変更] と順に選択します。



補足 6 Windows Vista ヘインストールする場合の注意点

- Windows Vista はこれまでの Windows に比べて、安全性を強化するよう設計された多数の新しいセキュリティ機能が搭載されているため、インストール途中でさまざまな確認メッセージが表示されることがあります。
- 特に LAN 対応版をインストールする場合、デフォルトの設定のままだと「ユーザーアカウント制御」のため、ネットワークドライブが正常に参照できません。

Windows Vista ヘインストールする場合は、下記手順より、「ユーザーアカウント制御」の設定を変更してください。

- [スタート] → [コントロールパネル] → 「ユーザーアカウント」をクリックします。



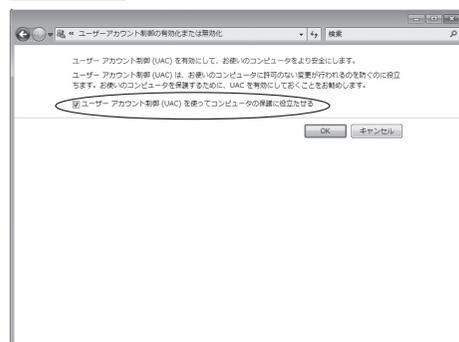
- 「ユーザーアカウント」をクリックします。



- 右の画面が表示されるので、「ユーザーアカウント制御の有効化または無効化」をクリックします。



- 「ユーザーアカウント制御 (UAC) を使ってコンピュータの保護に役立たせる」のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックします。



- 再起動を促すメッセージが表示されるので再起動を行ってください。

- 起動後、本マニュアルに沿ってレッツ工事台帳のインストールを行ってください。

➡ P.7「インストール作業手順」を参照してください。

- インストール終了後は、設定を必ず元に戻してください。

補足 7 PC入替作業手順

PCを入れ替えるときの方法を解説します。 (旧PC)：今現在お使いになっているPCで行う作業
(新PC)：入替先のPCで行う作業

① (旧PC) 現データのバックアップ (必ず実行してください!)

メインメニューのメニューバー [ファイル] → [データ複写] を実行します。安全のため、2部以上取ることを強く推奨します。既にバックアップを取ってある場合は次へ進んでください。

② (旧PC) プログラム番号の確認 (控え)

メニューバーの [ヘルプ] → [バージョン情報] を開き、現在ご使用のプログラム番号を確認してください。

🔔 PCの故障等でレッツ工事台帳が起動できない場合

1. レッツ工事台帳がインストールされているほかのPCにてレッツ工事台帳を起動し、上記の [バージョン情報] よりプログラム番号を確認してください。
2. ほかのPCで使用されていないプログラム番号がご自身のプログラム番号ということになります。

③ (旧PC) レッツ工事台帳のアンインストール

→ P.11 レッツ工事台帳のアンインストールに従い、アンインストールを行ってください。

🔔 LAN環境でご使用の場合、入れ替えるPCでのみ行ってください。

④ (新PC) レッツ工事台帳のインストール

→ P.7 「インストール作業手順」に従い、インストールを行ってください。

🔔 プログラム番号は②で確認した番号を使用します。

A. LAN環境で運用している場合

⑤ (新PC) 会社データ切替

レッツ工事台帳を起動し、メインメニューのメニューバー [ファイル] → [会社データ切替] を実行します。実際にご使用になる会社名に切り替えてください。

以上でPC入替作業は完了です。

B. スタンドアロン環境で運用している場合

⑤ (新PC) 新規会社データ作成

レッツ工事台帳を起動し、メインメニューのメニューバー [ファイル] → [新規会社データ作成] を実行します。実際にご使用になる会社名で作成してください。環境設定画面が表示されましたら、開始日 (本日で結構です) のみ入力し、承認します。

⑥ (新PC) バックアップデータの復帰

①の処理でとったバックアップデータを使用します。メインメニューのメニューバー [補助] → [データ復帰] を実行します。

以上でPC入替作業は完了です。

補定 8 サーバー入替作業手順

サーバーを入れ替えるときの方法を解説します。

〔サーバー〕：入替先のサーバーで行う作業

〔クライアント〕：クライアントで行う作業

①〔クライアント〕 現データのバックアップ（必ず実行してください！）

メインメニューのメニューバー [ファイル] → [データ複写] を実行します。安全のため、2部以上取ることを強く推奨します。既にバックアップを取ってあれば、次へ進んでください。

②〔サーバー〕 サーバーの設定

P.5「サーバーの設定」に従い、サーバー上に新たな共有フォルダを設定してください。

③〔クライアント〕 クライアントの設定

ネットワークドライブの割り当ての変更をします。

P.6「クライアントの設定」に従い、ネットワークでご使用になるすべてのクライアントで設定を行ってください。

④〔クライアント〕 レッツ工事台帳のインストール

「インストールマニュアル」に従い、任意のクライアント1台でレッツ工事台帳の再インストールを行ってください。（P.12「再インストールについて」も併せてご参照ください。）

⑤〔クライアント〕 新規会社データ作成

クライアント1台でレッツ工事台帳を起動し、メインメニューのメニューバー [ファイル] → [新規会社データ作成] を実行します。

実際にご使用になられる会社名で作成してください。

環境設定画面が表示されましたら、開始日（本日で結構です）のみ入力し、承認します。

⑥〔クライアント〕 バックアップデータの復帰

①の処理でとったバックアップデータを使用します。

クライアント1台でメインメニューのメニューバー [補助] → [データ復帰] を実行します。

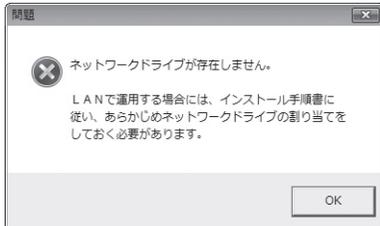
⑦ 複数の会社データがある場合は、⑤、⑥の作業を会社データの数だけ行ってください。

以上でサーバー入替作業は完了です。

9 トラブルシューティング

以下のエラーメッセージが表示された場合には、それぞれ次のように対応してください。

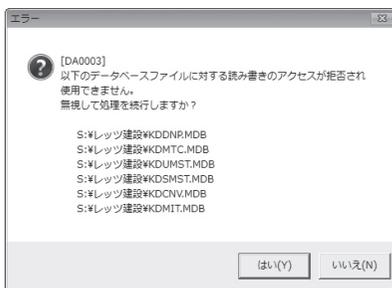
■インストール途中のエラー



原因： [ユーザーアカウント制御] により、ネットワークドライブを参照できない。

対応： 本マニュアル P.15 を参考に、設定を変更してください。

■工事台帳起動時のアクセス拒否エラー



原因： クライアントにログオンしたユーザーに対する「アクセス許可」設定が「フルアクセス」になっていません。

対応： 本マニュアル P.5、P.13、P.14 を参考に、設定を変更してください。

■レッツ工事台帳起動時のエラー



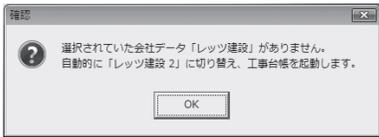
原因： ネットワークドライブの接続が切れています。

対応： [OK] をクリックし、Windows に戻ります。マイコンピュータを開き、S：ドライブに×が付いていればダブルクリックすると×が消えて正常に使用できるようになります。

🔔 下のメッセージが表示された場合など、×が消えない場合には、ネットワークのトラブルが考えられます。ネットワーク管理者へご相談ください。



🔔 S：ドライブが無い場合には、本マニュアル P.6 「クライアントの設定」を参考にして正しいフォルダ「LETS.NT」に割り当てし直してください。詳しくはネットワーク管理者へご相談ください。



- 原因： A. ほかのユーザーが会社削除した、エクスプローラで会社フォルダを削除した（操作ミス）などで、前回まで使用していた会社データがなくなった。
B. 別の共有フォルダに S: ドライブを割り当てたが通常使用しているデータとは別にレッツ工事台帳のデータフォルダがある。

- 対応： A. ① データの内容をデータ管理者に確認し、正しければそのままご使用ください。
② [OK] をクリックし、レッツ工事台帳を起動します。その後、メインメニューのメニューバー [ファイル] → [会社切替] で正しい会社データを選択します。または、[ファイル] → [新規会社データ作成] で新規会社を作成し、[補助] → [データ復帰] でバックアップデータを戻します。
B. 本マニュアル P.5 「クライアントの設定」を参考にして正しいフォルダ「LETS.NT」に割り当てし直してください。



原因： 別の共有フォルダに S: ドライブを割り当てた。

対応： [OK] をクリックし、Windows に戻ります。本マニュアル P.5 「クライアントの設定」を参考にして正しいフォルダ「LETS.NT」に割り当てし直してください。



- 原因： A. ダブルクリックのミスなど、二重起動しようとしている。
B. 前回、レッツ工事台帳が異常終了した。
C. レッツ工事台帳終了後すぐに起動した。
D. レッツ工事台帳が起動している最中に「ファイル回復」を起動した。
E. 「ファイル回復」を起動している最中にレッツ工事台帳を起動した。

- 対応： [OK] をクリックして Windows に戻ります。
A. タスクバーに [レッツ工事台帳] が表示されていれば閉じてください。
B. 「ファイル回復 (操作マニュアル参照)」を行ってください。
C. レッツ工事台帳終了後、約 10 秒間は起動しないようにご注意ください。
D. 起動しているレッツ工事台帳を終了します。
E. 起動している「ファイル回復」を終了します。



株式会社レッツ

<http://www.lets-co.com>